

創造から新天新地へ—24章でたどる神の救済史

4章 「イスラエル民族の始まり」

出エジプト記12章

1. はじめに

(1) 1章では「世界の始まり」を取り上げた。

①天地創造の目的は、神の国の臣民を造り出すことにあった。

(2) 2章では「人類の堕落と救い主の約束」を取り上げた。

①悪魔は、悪魔の国を作ろうとしている。

②神は、救い主の約束を与えた。

(3) 3章では「アブラハムの選び」を取り上げた。

①罪が個人から家庭へ、社会へ、文明へと広がった。

②救済史は、一人の人の選びから始まった。

③歴史の記述法が変化した。

*普遍史（全人類の堕落史）

*救済史（選ばれた系譜の歴史）

④約束の受け手（民）と「舞台」（地）が定められた。

2. 4章の内容

(1) 4章では「イスラエル民族の始まり」を取り上げる。

①ヤコブの一家はエジプトに下る。

②これは裁きであると同時に祝福でもある。

*カナン人の文化との同化

*民族形成のための保護と増殖

③旧約神学の「懲らしめ=救いの手段」が明確になる。

④ヤコブの子孫たちはエジプトで一大民族となり、そこを脱出する。

(2) 旧約最大の救いの出来事は、イエスの十字架を指し示している。

出エジプトの出来事は、イエスの十字架を指し示している。

出エジプト記12章にある4つの型を発見すればそれが分かる。

I. 過越の子羊 — メシアの予型

1. 出12:5

Exo 12:5 あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。

(1) 傷のない子羊

①無垢な犠牲

②イエスは罪のない方（1ペテ1:19）

(2) 子羊の直接的予表

①「神の子羊」キリスト（ヨハ1:29）

2. 出12:3

Exo 12:3 イスラエルの全会衆に次のように告げよ。／この月の十日に、それぞれが一族ごとに羊を、すなわち家ごとに羊を用意しなさい。

(1) 家族ごとに犠牲が適用される。

①個人的信仰の応答が必要。

②行いではなく「血」による救いを示す。

3. 出12:46

Exo 12:46 これは一つの家の中で食べなければならない。あなたは家の外にその肉の一切れでも持ち出してはならない。また、その骨を折ってはならない。

(1) 骨を折ってはならない

①規定（出12:46）→メシア預言（詩34:20）→成就（ヨハ19:33）

II. 子羊の血—救いの方法

1. 出12:13

Exo 12:13 その血は、あなたがたがいる家の上で、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。わたしがエジプトの地を打つとき、滅ぼす者のわざわいは、あなたがたには起こらない。

(1) 血に救いの力があるのではなく、信仰に力がある。

①血は家の外側に塗られる。

②見えるしるしとしての信仰告白である。

(2) 神は、血を塗った者の上を過ぎ越す。

①救いとは「神の怒り」からの解放である。

②イエスは怒りを身に受けてくださった（イザ53:5）。

Isa 53:5 しかし、彼は私たちの背きのために刺され、／私たちの咎のために碎かれたのだ。／彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、／その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

III. 食べられる子羊 — いのちの共有

1. 出12:8

Exo 12:8 そして、その夜、その肉を食べる。それを火で焼いて、種なしパンと苦菜を添えて食べなければならない。

(1) 焼いた子羊を食する命令。

①キリストのいのちを取り込むことの象徴

②ヨハ 6:53～54

Joh 6:53 イエスは彼らに言わされた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。

Joh 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。

③救いは単なる免罪ではなく、新しい命の授与である。

2. 急いで食する（種なしパン）

(1) 救いは「出発」であり、歩みの始まりでもある。

①パン種=罪を除去して歩む聖別の原理（1コリ 5:7～8）

②十字架は「罪赦される起点」であり、「聖さへ向かう出発」。

(2) 記念として繰り返す。

①過越→聖餐式へ継承（ルカ 22:19～20）

IV. エジプトからの脱出 — 救いの結果

1. 支配の領域が変わる。

(1) エジプト=罪・サタンの支配

①神の民として歩む生活が開始

②救いは「罪からの解放」+「神の民としての新しい身分」

(2) 祝福の富を携え出る。

①出12:36

Exo 12:36 【主】はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプト人は彼らの求めを聞き入れた。こうして彼らはエジプトからはぎ取った。

②アブラハム契約成就の証拠（創 15:14）

2. 異邦人も信仰により同行

（1）出12：38

Exo 12:38 さらに、入り混じって来た多くの異国人と、羊や牛などおびただしい数の家畜も、彼らとともに上った。

①割礼=信仰のしるし

②救いの普遍性の初期形態（ロマ4章）

結論：今日の信者への適用

1. 確信

（1）子羊の血の下にある確信

（2）私たちは、神の怒りから完全に解放されている。

（3）救いの確信は、自己評価ではなくキリストの血によって与えられる。

2. 行動

（1）出発した者として生きる。

（2）出エジプトは「新しい歩みの開始」を象徴している。

（3）信者は罪の支配下に留まる必要はない（ロマ6章）。

（4）種なしパンの生活=罪を持ち込まない歩み、継続的なへりくだり。

3. 自覚

（1）神の民としてのアイデンティティを自覚する。

（2）信仰と恵みによって「所有者」が変わった。

（3）サタンの権威の下にいるのではなく、「神の所有」（1ペテ2:9）である。

（4）自分は「誰に属する者なのか？」を常に確認する。

4. 使命

（1）異邦人も信仰によって同行した（出12:38）。

（2）神は今も全世界を祝福しようとしておられる。

（3）選びは、他者を祝福するための召命である。

（4）神の国建設の物語を生きる人は幸いである。